お金なんでも相談室

第11回 株式会社はなぜ多い？

株式と株式会社のしくみ

渋沢 英子　 津田 桜子　 北里 三郎

渋沢　お金の疑問にパキッと回答、「お金なんでも相談室」。ナビゲーターの渋沢英子です。

北里　北里三郎です。

津田　津田桜子です。

津田 / 北里　よろしくお願いします！

渋沢　今日の質問いってみましょう！

北里　視聴者からメールをいただきました。「世の中に『株式会社』が多いのはなぜですか？」だそうです。

渋沢　なるほど。ちなみに株式会社とは何だったでしょう？

津田　えーっと、活動に必要なお金を、株式を発行して集めている会社のことだったと思います。

渋沢　そうですね。国税庁の調査によると、日本の株式会社は 200 万社を超えるといわれています。

北里　え〜そんなにあるの !?

渋沢　こんなにたくさんある理由の1つは、株式によって集めたお金は借金ではないので、銀行から借りたお金と違って、返す必要がないからです。

津田 / 北里　え〜 !!　どういうことですか？

渋沢　では、株式会社を畑に例えて考えてみましょう。三郎さんが、土地 100ha を購入して、農作物を作ろうと考えました。土地を買うには 100 万円必要ですが、三郎さんはお金を 10 万円しか持っていませんでした。さて、三郎さん、どうしますか？

北里　え、僕 10 万円も持ってないよ。じゃあ銀行から借ります！

津田　えー無理！　三郎くんに銀行が貸してくれるとは思えない。

北里　何その低評価！　そもそも仮定の話だから。

渋沢　残念ながら桜子さんの指摘通りです。銀行は返済が可能だという保証がなければ、たくさんのお金を貸してはくれないでしょう。さて、どうしますか？

津田　株式を発行してお金を集めるんですね。

渋沢　その通りです。「農作物を作るために、一緒に畑を買ってくれる人」を 1ha あたり1万円として広く集めたところ、90 人から 90 万円が集まりました。つまり、100ha の畑を三郎さんと 90 人がそれぞれ所有していることになりますよね。

渋沢　だから三郎さんは 90 人からお金を借りているわけではないのです。

北里　確かに！

渋沢　株式会社もこれと同じで、株式を買った人は**株主**といわれ、会社を所有していることになるのです。株式によって集めたお金は株主から借りたわけではないので、株式会社が株主にお金を返す必要はないんです。

北里　返さなくていいなんてラッキーですね。

渋沢　その代わり、株式を発行した会社は、株主総会という場で株主の意見にも耳を傾けながら、事業を成功させ、利益を配当金として還元することで株主の期待に応えなければならないのです。畑で例えると、みんなの意見を聞いて農作物を栽培し、その農作物を売って得た利益を分けるということになるでしょうか。

津田　集めたお金を返さなくていいなら、経営者は目先の利益でなく長い目で事業ができそう。

渋沢　良いところに気が付きましたね。整理すると株式会社は、経営者にとっては、**広く多くの人からお金を集められる、集めたお金は返さなくてよい**ので長期的な視点から経営ができる、といったメリットがあるんです。では、お金を出す側のメリットは何でしたか？

北里　**配当金がもらえ**ます！

津田　**株主総会に出て、経営に意見を言う**ことができます！

渋沢　その通りです。

津田　でも、もし株式を買った会社の事業が失敗して、大きな借金ができてしまったら、株主が借金を返さなきゃいけないんでしょうか。そうだったら怖いです。

渋沢　そんなことはありません。株主は出したお金を失うだけで、それ以上の責任を負う必要はないのです。これを**有限責任**といいます。このルールがあるおかげで投資家は安心して、会社にお金を出すことができるのです。

津田　それもお金を出す側のメリットですね。

渋沢　このように株式会社というしくみは、経営者にも株主にも多くのメリットがあるんです。

北里　株式会社、確かにすごい！

津田　だから株式会社がたくさんあるんですね。

北里　僕も将来起業して社長になるのも悪くないな。

津田　ふーん、本当になれるのかしら。

北里　ふふん、その低評価を高評価に変えてみせるよ！

今日の授業のおさらいだよ。
・株式会社というしくみは、**経営者にも株主にもメリット**がある
・経営者にとっては、**広く多くの人**からお金を集められ、そのお金は**返済しなくてよい**
・株主にとっては、**配当金**がもらえ、**株主総会**に出て意見を言うことができる
・さらに、株主は出した金額以上の責任を負うことはない。これを**有限責任**という
わかったかな。